

きっと見つかる、ずっとつながる笑顔の和

第9号
2016年
7月

わげん便り



平成28年度 法人目標について（座間副理事長）
合同入職式及び合同研修について
各施設よりお知らせ
平成27年度決算報告



平成28年度、当法人の目標は2点挙げられる。

- ① 社会福祉法人大改革に対応する柔軟な力。
- ② 各事業所の更なる自立と経営。

平成29年度に施行される社会福祉法人大改革に呑み込まれることのないよう、ワゲン福祉会の立ち位置や在り方をしっかり把握し、地域医療や地域福祉に邁進すること。皆さんの行っている医療や看護、介護その他それに付随するものは、言わば本業ですが、世の中の考える社会福祉法人はそれらをやって当たり前のことと考えている。社会福祉法人に対して世間は厳しい目で見えています。これからは本業以外で、地域における公益的な取り組みを実施する責務が問われている。

当法人は「生まれてから生涯を閉じるまで」いかなる環境や状態になろうとも、間断なく総合医療や福祉サービスを提供する体制が整ったところだ。後は地域社会からより信頼され、求められる法人にならなくてはならない。その法人を基盤から支えるのが各事業体になる。総合病院、療育病院、特別養護老人ホーム、都市型軽費老人ホーム、在宅サービス事業（訪問看護、訪問介護、通所介護、短期入所、居宅介護支援事業、福祉・医療相談事業）、地域包括支援センター（高齢者支援センター）、保育園、給食配送サービスなど、多岐に渡る事業の展開により、きめ細かに構成されている。

今年度の地域包括ケアシステムの推進を図る重点目標として

- 1.医療と介護の更なる連携と充実
- 2.新規事業（血液浄化センター・MRI・保育事業など）の展開
- 3.就業規則など規程類のリノベーションと運用
- 4.エビデンス（根拠）に基づく医療・介護等の提供
- 5.コンプライアンス（法令遵守）の徹底
- 6.アカウントビリティ（説明責任）を果たすサービス
- 7.内部・外部研修、人材育成・定着による優秀な人材の確保

つまり簡単な言葉で言えば、自分や自分の親、子供、孫が利用したい、また働きたい病院や高齢者施設、障がい者施設、保育園、居宅介護支援事業所、在宅医療・福祉サービスではなくてはならない。

細かな視点になるが、肝心なことは、各事業所は組織的にも経済的にも、より一層自立を目指すこと。経営の安定こそが地域における医療サービス、福祉サービスの充実につながる。職員の一人一人がしっかり考える習慣を身につける。決して無責任に丸投げすることではなく、積極的に取り組む姿勢で職務に当たり、責任と義務を果たす職業人であってほしい。



合同入職式

2016年4月1日（金）ラポール千寿閣（東京都町田市）にて行われました。

4月1日入職の34名が座間理事長より辞令を渡され、新たな思いを胸に社会福祉法人ワゲン福祉会に入職されました。当法人に新しい風を送り込んでくれるフレッシュな人材を暖かく見守りたいと思います。



祝辞を述べる座間理事長



法人合同新人研修

「法人理念の理解」と「法人内の横の繋がり」の形成」を目的に始まった法人合同新人研修は今年で2回目の実施となりました。

昨年度は総合相模更生病院での研修が中心でしたが、今年はワゲン新横浜や相陽台ホームでも研修を開催しました。新人職員に自分の職場以外の施設を見て頂く機会を作りましたが、法人を理解していくうえで、とても良い機会になったのではないかと考えます。

また、昨年度この研修に参加し2年目を迎えた職員にもファシリテーターとして参加してもらっているのですが、自分たちが経験してきたことを後輩職員に伝える姿は、本当に頼もしく見え、とても嬉しく思いました。

各施設におかれましては研修に協力頂き、本当にありがとうございます。また、引き続きの協力をお願いしたいと思います。今後もこの研修がより良いものになるよう、担当職員皆で努力していきたいと思えます。（相陽台ホーム 徳光）





昨年度より、法人教育作業部会として新入職員への教育システムを構築するべく、相模更生病院岩岡師長・相陽台ホーム徳光課長と共にプログラムを作成、実施しています。昨年の反省を踏まえつつ、今年度は法人合同新人研修として、入職式後に全入職者対象の研修を2日間・新卒者を対象に施設見学も兼ねた研修を3日間実施しました。研修の際には、前年度の新人職員（2年目職員）にプリセプターとして参加してもらい、先輩職員として手本となる機会を作っています。

現状では4・6・10月に合同研修を行ない、職場内の縦の繋がりだけでなく、法人内の横の繋がりが作れる様、考えています。今年度よりワゲン療育病院長竹吉村看護師もメンバーに加わり、法人内の横の繋がりも強化出来つつあります。引き続き各施設の協力を得ながら、知識の向上だけでなく職員の定着に繋がられる様、尽力していきたいと思えます。

（ワゲン新横浜 川上）



3ヶ月後フォローアップ研修

今回の3か月研修は院外研修ということで高尾山研修を予定していましたが、梅雨に入り天候がいまいちのため多摩動物公園へと変更となりました。正直なところ新人さんたちが動物園でリフレッシュできるのか、研修として成立するのか心配でした。この時期は慣れない職場での緊張感から解放され、また同期で交流を持つことでリフレッシュしてほしかったので、新人さんの笑顔を見て研修としては成立したと感じました。今後も笑顔になるような研修を企画、運営していきたいと思います。（総合相模更生病院 岩岡）



ファシリテーターをして
相陽台ホーム 古澤卓也

ファシリテーターとして3ヶ月後フォローアップ研修に参加させてもらいました。悪天候のために動物園で研修になりましたが動物と触れ合いながらみんなが笑顔で同期同士の仲間意識が深まっていました。ファシリテーター3人もやっぱり同期はいいよなって話していました。

研修を計画、運営してくださった方々にも感謝しながらワゲングループの一員として盛り上げていきたいです。

イベント・お知らせコーナー

ワゲン療育病院長竹 副看護部長紹介



ワゲン療育病院長竹
副看護部長 吉村靖史

28年4月入職、副看護部長を拝命した吉村靖史です。救急救命士と感染管理認定看護師資格を持っています。ワゲン療育病院長竹は、医療型障害児入所施設と療養介護施設の種別をもち、短期入所を含め、現在40床の施設です。H26年4月の開設から、3年目を迎えたH28年6月末に34名の入所と数名の短期入所の皆様で大変賑やかになりました。私たちの療育・ケアの目指すところは入所者様の持てる力を維持し、日常生活をご家族に代わって、サポートするという事です。その根底には和やかな笑顔と優しい言葉と相手の意志を先立って知り、その要求を満たす心安らぐ環境への配慮があります。

長竹職員が一丸となって、入所者の皆様のQOLを高める取組みを展開しています。職員の質を高める研修について、誤嚥を想定した一時救命処置(BLS)訓練を役割カードと評価カードを考案して行っています。3か月間、毎日の5分間訓練により、支援職も効果的な胸骨圧迫が可能となり、機器も取扱えて生き生きしています。BLS訓練の研修姿勢に感動・毎食前の短時間ミーティングは、利用者個々の皆様に合わせた、多様な摂食方法を確認する機会です。ワゲン長竹の一員として、一層の貢献に励みたいと思います。

総合相模更生病院 栄養サポートチーム紹介



総合相模更生病院
薬剤師 矢倉さん(左)
管理栄養士 蛸子さん(右)

総合相模更生病院では平成25年9月よりNST(Nutrition Support Team)を発足し、活動しています。平成26年よりメンバーのスキル・モチベーションの向上を図るべく学術集会や臨床栄養セミナーへ参加し、認定教育施設での40時間の実施修練、認定試験を経て26年度は検査科の奥本さん、27年度は栄養科の蛸子と薬剤部の矢倉が日本静脈経腸栄養学会認定栄養サポートチーム(NST)専門療法士となりました。

栄養療法は医療の根底であるという考えのもと今後も研鑽を重ね、治療への貢献・患者様にとって有益となる活動が出来るように頑張っていきたいと思います。院内はもちろん、他施設におきましても栄養療法に関するご質問・ご相談等お待ちしております。

相陽台ホーム



相陽台ホーム 3大 行事の報告

- 7/31(日) 夏祭り
 - 9/9(月) 敬老会
 - 11/3(木) 相陽祭
- 上記以外にも
7月上旬 地産野菜とアユ200匹のパーベキュー大会
10月上旬「アートラボはしもと」とのコラボで
「アート×福祉」実践ワークショップ

総合在宅支援部門

部門の中にある二つのセンターのご案内を致します。

《麻溝高齢者支援センターより》

現在の場所（三和麻溝店B館3F）に移転をして早いもので2年以上経過しました。

変わらずのメンバーで業務を行っています。今年は、麻溝健康プロジェクトに力をいれて地域とともに地域づくりに励んでいます！！

《小山高齢者支援センターより》

年金支給日 振り込め詐欺 注意喚起

平成27年10月より、小山・清新・横山の3つの高齢者支援センターで、駅前の銀行の前で振り込め詐欺への注意を呼びかけたチラシ配りを行っています。少しずつ規模が大きくなっており、雨天中止となってしまいましたが今年の6月には、中央・田名・光が丘・星が丘も合わせた7つの高齢者支援センターで活動しています。



ワゲン新横浜

お琴演奏会



もともとは働いていた職員の紹介で始まったボランティアによるお琴の演奏会。今では年に三回～四回と季節ごとに来ていただいております。時には、地域の保育園児達にも来訪いただき、素敵な音色を通じて世代間、地域との交流を図っております。「琴さくらの会」の皆様感謝しつつ、これからも地域に根ざした施設を目指していきます。

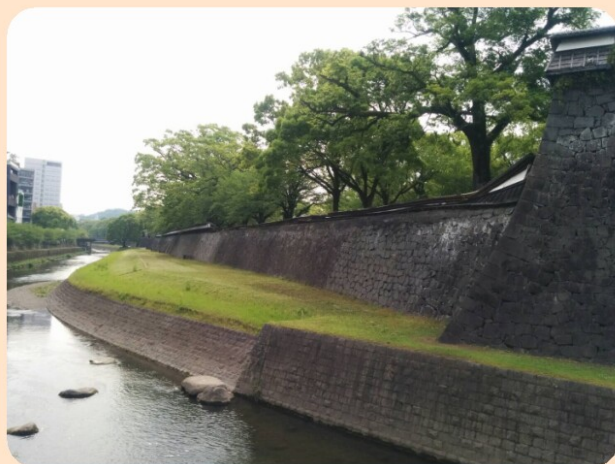
被災地の視察を通じて

4/20～4/24まで特別休暇をいただき、実家の熊本に帰省させて頂きました。

私の実家は、瓦と石垣が一部崩れる等の被害はありましたが大きな被害はなく、家族も無事でした。しかし、帰省中も余震が続いていた為、夜は車内で過ごしました。その際、車が無い家族に余分に持っている家族が車を貸す等して住民同士で助け合っていました。

今回の被災地体験を通じて、改めて他人を思いやり、助け合う事の大切さを学びました。ここ新横浜でもいつ震災が起こるか分かりません。いざというときには、職員同士、地域の方と助け合い、ご利用者の命を守る、そんな介護士になっていたらと強く感じました。

(ワゲン新横浜 山口)

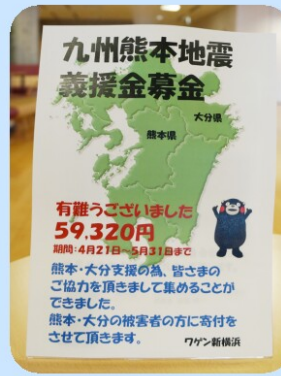


地震後の熊本城お堀の外壁

CSR（社会貢献）

九州熊本地震義援金募金を各施設で行いました。

皆様の暖かい思いを被災地に支援団体を通じて送りたいと思います。ご協力ありがとうございました。



決算報告

社会福祉法人 ワゲン福祉会 平成27年度決算報告
自平成27年4月1日 至平成28年3月31日

| 勘定科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|-------------|----------------|----------------|----------------|
| 事業活動による収支 | | | |
| 事業活動収入 | 5,155,375,354 | 5,311,155,766 | -155,780,412 |
| 事業活動支出 | 5,218,158,155 | 5,319,084,727 | -100,926,572 |
| 事業活動収支差額 | -62,782,801 | -7,928,961 | -54,853,840 |
| 施設整備等による収支 | | | |
| 施設整備等収入 | 2,180,134,581 | 2,064,473,000 | 115,661,581 |
| 施設整備等支出 | 2,507,825,911 | 2,688,869,687 | -181,043,776 |
| 施設整備等資金収支差額 | -327,691,330 | -624,396,687 | 296,705,357 |
| その他の活動による収支 | | | |
| その他の活動収入 | 1,807,345,394 | 1,945,407,707 | -138,062,313 |
| その他の活動支出 | 2,426,340,735 | 2,412,465,580 | 13,875,155 |
| その他活動資金収支差額 | -618,995,341 | -467,057,873 | -151,937,468 |
| 当期資金収支額合計 | -1,009,469,472 | -1,099,383,521 | 89,914,049 |
| 前期末支払資金残高 | 0 | 1,359,543,295 | -1,359,543,295 |
| 当期末支払資金残高 | -1,009,469,472 | 260,159,774 | -1,269,629,246 |

| 勘定科目 | 当年度決算 | 前年度決算 | 差異 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|
| サービス活動増減の部 | | | |
| サービス活動収益計 | 5,265,097,527 | 5,285,706,527 | -20,609,000 |
| サービス活動費用計 | 5,507,738,697 | 5,212,629,315 | 295,109,382 |
| サービス活動増減差額 | -242,641,170 | 73,077,212 | -315,718,382 |
| サービス活動外増減の部 | | | |
| サービス活動外収益計 | 46,058,239 | 50,929,975 | -4,871,736 |
| サービス活動外費用計 | 110,111,429 | 115,714,116 | -5,602,687 |
| サービス活動外増減差額 | -64,053,190 | -64,784,141 | 730,951 |
| 経常増減差額 | -306,694,360 | 8,293,071 | -314,987,431 |
| 特別増減の部 | | | |
| 特別収益計 | 1,872,941,583 | 66,108,789 | 1,806,832,794 |
| 特別費用計 | 2,023,761,515 | 286,727,214 | 1,737,034,301 |
| 特別増減差額 | -150,819,932 | -220,618,425 | 69,798,493 |
| 当期活動増減差額 | -457,514,292 | -212,325,354 | -245,188,938 |
| 前期繰越活動増減差額 | 1,377,572,921 | 1,589,898,275 | -212,325,354 |
| 次期繰越活動増減差額 | 920,058,629 | 1,377,572,921 | -457,514,292 |

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|---------|----------------|--------------|----------------|
| 流動資産 | 1,429,308,745 | 流動負債 | 1,629,164,125 |
| 固定資産 | 10,213,134,724 | 固定負債 | 5,337,749,156 |
| | | 負債の部合計 | 6,966,913,281 |
| | | 基本金 | 835,732,644 |
| | | 国庫補助金等特別積立金 | 2,919,738,915 |
| | | 次期繰越活動増減差額 | 920,058,629 |
| | | (うち当期活動増減差額) | -457,514,292 |
| | | 純資産の部合計 | 4,675,530,188 |
| 資産の部 合計 | 11,642,443,469 | 負債及び純資産の部合計 | 11,642,443,469 |

編集後記

梅雨も終わり、いよいよ4年に一度のオリンピックが開催をむかえます。このオリンピックの五輪のマークには、世界5大陸を5つの重なり合う輪で表現し、平和へのはってんを願ったものです。各部門も発展していくなかでそれぞれが連携しあい理念に基づいた運営を取り組んでいければと思います。

法人広報：有馬、俵、佐藤

2016.1.Vol.9

■編集：ワゲン福祉会 広報 ■お問い合わせ先：〒252-5225 神奈川県相模原市中央区小山3429
■mail：wagenkouho@wagen.or.jp ※わげん便りは社会福祉法人 ワゲン福祉会で出版されています。